

学校評価(共通項目)評価書

柱	No	評価項目	自己評価	自己評価の説明及び学校の考え	関係者評価	学校関係者評価者の説明
学校の組織運営	1	学校は、学校教育目標達成に向けて、全教職員で組織的に取り組んでいる。	B	学校教育目標の実現に向けて職員が一丸となって取り組んだ結果、おおむねよい評価であった。今後も学校の取組が生徒に生かされ、よりよい成果が期待できるように、チームとしての力を向上させるために努力をしていく。	A	・各行事、生徒の様子から、教職員一丸となって取り組んでいることがわかる。 ・保護者・生徒ともに昨年度に引き続き高評価であり、特に生徒のA評価が半数を超えていることを考慮した。
	2	学校は、安全・安心に配慮し、危機管理体制を整えている。	B	避難訓練や、登下校を含む安全指導等、日頃の危機管理体制を徹底しており、保護者や生徒からおおむねよい評価が得られた。保護者・生徒から、日没が早い季節の、下校時の安全面に関する懸念が寄せられたので、下校指導等、更に充実させていく。	A	・身近に事故が発生した時も、迅速にできる限りの対応が出来ていた。 ・部活動時の自然災害・不審者対応等の処置を生徒が理解できているか心配。
基礎学力の定着	3	児童生徒は、教職員の指導により、基礎学力を身に付けている。	B	授業時間の確保や、基礎的・基本的な内容の確実な定着を図る指導と、少人数指導やT-Iによるきめ細かな指導を行った結果、おおむねよい評価であった。生徒・保護者からは、学習の遅れを補う指導の要望があったので、宿題や補習などを充実させていく。	A	・外国籍生徒のみならず“勉強わかる”と聞きますと、“はい”と返ってきます。基礎・基本の徹底ができていことが伺えます。 ・基礎学力についてはテストの点数で判断しがちだが、学力が定着しているか否かアウトプットの場を利用していくことが大切だと思います。
	4	学校は、学力向上をめざし、児童生徒の実態に基づいて授業改善に努めている。	B	全国学力学習状況調査や、埼玉県の学力状況調査等の結果を受け、授業改善を進めた結果、おおむねよい評価であった。今後は、より分かりやすい授業づくりへむけて、校内研修を軸として指導方法の工夫改善を行い、授業の質を高めていく。	B	・垣間見る先生方の授業に指導方法の工夫や改善が見られます。 ・授業進度や単元に使用できる時間数が限られていることを考えると、理解不十分な所を学びなおす時間が取れないように思えます。
規律ある態度の育成	5	児童生徒は、生活のルールに基づき、発達段階に応じた「規律ある態度」を身に付けている。	B	学校における約束や生活する上のルールを大切に、正しい学校生活を送ろうとする生徒が増え、概ねよい評価であった。日常生活の中でもリーダーが力を発揮できる生徒集団の育成を行う。	A	・きちんと生徒に寄り添っており、申し分ないと思いますとともに、地域の一員として感謝しております。 ・生徒の肯定的意見が唯一90%に達しておらず、このことを改善点にはいかかがでしょうか。
	6	学校は、児童生徒の実態把握に基づき、規律ある態度の指導の工夫・改善に努めている。	B	生徒指導部会、生徒指導委員会において生徒理解に努め、積極的な生徒指導を組織的に展開することにより、おおむねよい評価であった。今後は、生徒の実態に基づいたルールや、指導方法の見直しをおこない、よりよい指導の工夫・改善に努める。	A	・先に挨拶して下さる生徒や教職員をみて、自戒し、先に挨拶するようにしております。 ・問題が起きたらすぐに対応している。 ・肯定的意見で、先生方の評価が下がったのは気になるが、生徒、保護者は90%を維持している。
健康・体力向上	7	児童生徒は、体育の授業や運動部活動、外遊び等の運動に意欲的に取り組んでいる。	A	保健体育の授業、運動部活動の充実に加えて、体育委員会主催の昼休み校庭開放を実施し、体を動かすことが好きな生徒が増え、大変よい評価につながった。今後は、持久走・駅伝大会等を継続・充実させ、体力増進に向けた取組を充実させていく。	A	・対外試合の成績のみならず、文化的行事にも学校だより等で一中の活躍がみられ、意欲的に取り組んでいる。 ・生徒のA評価が6割を超えている。体育科の指導や委員会活動の取組が充実していると思われる。
	8	学校は、児童生徒の体力を高めるため、意図的に向上策を講じている。	B	授業において、運動量を増やして基礎体力の向上を図るとともに、スポーツテストの結果を掲示し、生徒へ啓発することにより、おおむねよい評価であった。今後は、体力テストの結果を踏まえて、学校として課題である投力・握力の改善・克服を図っていく。	A	・アンケート結果が示すように、意図的に向上策をとっていることがみられ、ありがたい次第です。 ・体育の授業の成果として、持久走大会、球技大会、校外学習、スキー林間等、充実していると思います。
連携	9	学校は、保護者や地域と連携し、その教育力を学力や体力の向上に生かしている。	B	ふれあい推進事業や、クリーン大作戦、除草・花植えによる美化活動・緑化活動では、保護者・地域社会の力を活用し、連携を深めるとともに、学校の教育力の向上を図ることができ、おおむね良好な評価であった。	A	・学校に負担がかからないよう地域でもっと学校に協力できないか常々考えております。 ・先生方の肯定的意見が90%に達していない。一中としての取組は進んでいると思われるので、先生方が学校はどんなことをやっているか関心を持つことが必要。
	10	保護者や地域は、学校と協力し合い、児童生徒の安全指導・健全育成を推進している。	B	朝のあいさつ運動や年3回の校外パトロール、PTA運営委員会における、地域での子どもたちの生活に関する情報交換を通して、生徒の安全指導・健全育成を推進できた。おおむねよい評価であった。今後は連携を深め、より開かれた学校づくりを目指す。	A	・学校だよりを回覧したり、美化活動・パトロールなどで協力していると思う。 ・あいさつ運動や、校外パトロールを含め、PTA活動が充実している。 ・地域への呼びかけが積極的である。

注:「自己評価」及び「関係者評価」の欄はA~Dで記入

Aは4点、Bは3点、Cは2点、Dは1点で換算した平均値から、A:3.4以上、B:2.6以上、C:2.0以上、D:2.0未満